## H3Cアクセスコントローラ

Comware7

APとACのレイヤー3での関連付け設定例

Copyright©2019New H3C Technologies Co.,Ltd.All rights reserved. 本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co.,Ltd.の事前の書面による同意なしには、いかなる形式または手段によっ ても複製または変更することはできません。 New H3C Technologies Co.,Ltd.の商標を除き、本書に記載されている商標は、それぞれの所有者の所有物です。 本ドキュメントの情報は、予告なく変更されることがあります。

### 内容

はじめに	3
前提条件	3
例:レイヤー3でACと関連付けるためのAPの設定	3
ネットワーク構成	
ネットワークの構成手順	4
制限事項およびガイドライン	4
手順	4
ACの設定	5
レイヤー3スイッチの設定	6
レイヤー2スイッチ1の設定	8
レイヤー2スイッチ2の設定	8
設定の確認	9
構成ファイル	11
関連ドキュメント	14
付録1. DHCPオプション43を利用したACとAPのレイヤー3での関連付け	15
付録2. カスタムDHCPオプション	16
ベンダー固有のオプション(オプション43)	
オプション43の機能	
オプション43の形式	16
サブオプション値フィールドの形式	16
付録3. ポートベースVLAN	18
付録4. ネットワーク解説	19

## はじめに

この文書では、レイヤー3でACと関連付けるようにAPを設定する例を示します。

## 前提条件

この文書は、Comware7ベースのアクセスコントローラおよびアクセスポイントに適用されます。例の手順および情報は、アクセスコントローラおよびアクセスポイントのソフトウェアまたはハードウェアのバージョンによって若干異なる場合があります。

このドキュメントの設定例は、ラボ環境で作成および検証されたものであり、すべてのデバイスは工場出 荷時のデフォルト設定で開始されています。ライブネットワークで作業している場合は、ネットワークに対 するすべてのコマンドの潜在的な影響を理解していることを確認してください。

このドキュメントでは、WLANアクセスに関する基本的な知識があることを前提としています。

# 例:レイヤー3でACと関連付けるためのAPの 設定

### ネットワーク構成

図1に示すように、レイヤー3スイッチは、AP、クライアント、およびホストにIPアドレスを割り当てるためのDHCPサーバーとして機能します。この例では、集中転送が使用されていると仮定します。

クライアントがAPを介してACと関連付けられ、クライアントがホストと通信できるように、ワイヤレスサービスを設定します。具体的な要件は以下の通りです。

- ACはVLAN 100に属し、APはVLAN 400に属していて、ACとAPはレイヤー3スイッチにより ルーティングされてCAPWAPトンネルを確立します。
- ACとAP間を通るワイヤレスクライアントとサーバー間のユーザーデータはCAPWAPトンネル を通じて通信されます。
- ワイヤレスクライアントはCAPWAPトンネル内をVLAN 200を介してネットワークにアクセスします。
- ワイヤレスクライアントはレイヤー3スイッチで、VLAN 200からVLAN 300にルーティングされ てホストヘアクセスします。
- レイヤー2スイッチ1はPoEを介してAPに電力を供給します。



## ネットワークの構成手順

以下にネットワークの構成手順を説明します。

- ACのデフォルトルートのネクストホップにレイヤー3スイッチのVLAN 400のIPアドレスを設定します。
- レイヤー3スイッチにDHCPサーバーを構成し、APはVLAN 400に設置されたDHCPサーバーによりIPアドレスを取得します。また、ACのVLAN 100のIPアドレスをDHCP option 43によりVLAN 400に設置されたDHCPに設定します。これにより、APはDHCP option 43を利用してACのアドレスを取得し、起動時に別セグメントに存在するACとのCAPWAPトンネルを確立させます。
- レイヤー2スイッチ1のPoEを有効にしてAPに電源を供給します。
- AC上でAPのワイヤレスサービスを構成して、クライアントが構成済みの無線を利用してネットワークを利用できるようにします。

## 制限事項およびガイドライン

レイヤー3でAPとACの関連付けを設定する場合は、次の制約事項およびガイドラインに従ってください。

- APの背面パネルに表示されているシリアルIDを使用して、APを指定します。
- この例ではVLAN 1を利用するパケットが多すぎてパフォーマンスに影響がある場合に、VLAN 1 からのパケットを拒否するようにAPを接続するスイッチのインターフェイスに設定します。この場合、 APはVLAN 1を使わずにVLAN 400を経由してACのVLAN 100に接続します。

手順

#### ACの 設定

1. ACインターフェイスを設定します。

#VLAN 100およびVLANインターフェイス100を作成し、VLANインターフェイスにIPアドレスを割り当てます。ACはこのIPアドレスを使用して、APとのCAPWAPトンネルを確立します。APはDHCP option 43を介してACのIPアドレスを取得し、ACとのCAPWAPトンネルを確立します。

<AC> system-view

[AC] vlan 100

[AC-vlan100] quit

[AC] interface vlan-interface100

[AC-Vlan-interface100] ip address 192.168.10.1 255.255.255.0

[AC-Vlan-interface100] quit

# VLAN 200を作成します。ACはVLAN 200を使用してクライアントトラフィックを転送します。

[AC] vlan 200

[AC-vlan200] quit

[AC] vlan 300

[AC-vlan300] quit

#ACをスイッチに接続するGigabitEthernet1/0/1をトランクポートとして設定し、ポートを VLAN 100、200および300に割り当てます。

[AC] interface gigabitethernet 1/0/1

[AC-GigabitEthernet1/0/1] port link-type trunk

[AC-GigabitEthernet1/0/1] port trunk permit vlan 100 200 300

[AC-GigabitEthernet1/0/1] quit

2. ACのデフォルトルートのIPアドレスをスイッチのネックスとホップとして192.168.10.83を設定します。

[AC] ip route-static 192.168.40.0 24 192.168.10.83

3. ワイヤレスサービスを構成する:

#サービステンプレート1を作成し、そのビューを入力します。

[AC] wlan service-template 1

# SSIDをserviceとして構成します。

[AC-wlan-st-1] ssid service

#サービステンプレートを有効にします。

[AC-wlan-st-1] service-template enable

[AC-wlan-st-1] quit

APを設定します。
 #手動AP officeapを作成し、APモデルおよびシリアルIDを指定します。

[AC] wlan ap officeap model WA538-JP
[AC-wlan-ap-officeap] serial-id 219801A1NM8182032235
[AC-wlan-ap-officeap] vlan 1
#サービステンプレート1およびVLAN200を無線1にバインドします。
[AC-wlan-ap-officeap] radio 1
[AC-wlan-ap-officeap-radio-1] service-template 1 vlan 200
#radio1を有効にします。
[AC-wlan-ap-officeap-radio-1] radio enable
[AC-wlan-ap-officeap-radio-1] quit
[AC-wlan-ap-officeap] radio 2

[AC-wlan-ap-officeap-radio-1] return

#### レイヤー3スイッチの設定

1. スイッチインターフェイスを設定します。

#VLAN 100、VLAN 400、VLANインターフェイス100、およびVLANインターフェイス 400を作成し、VLANインターフェイスにIPアドレスを割り当てます。スイッチはVLAN 100およびVLAN 400を使用して、ACとAPの間のCAPWAPトンネルを介してパケットを 転送します。

<L3 switch> system-view

[L3 switch] vlan 100

[L3 switch-vlan100] quit

- [L3 switch] interface vlan-interface 100
- [L3 switch-Vlan-interface100] ip address 192.168.10.83 255.255.255.0
- [L3 switch-Vlan-interface100] quit
- [L3 switch] vlan 400

[L3 switch-vlan400] quit

[L3 switch] interface vlan-interface 400

[L3 switch-Vlan-interface400] ip address 192.168.40.1 255.255.255.0

[L3 switch-Vlan-interface400] quit

#VLAN 200およびVLANインターフェイス200を作成し、VLANインターフェイスにIPアドレ スを割り当てます。このVLANは、クライアントアクセスに使用されます。

[L3 switch] vlan 200

[L3 switch-vlan200] quit

[L3 switch] interface vlan-interface 200

[L3 switch-Vlan-interface200] ip address 192.168.20.1 255.255.255.0

[L3 switch-Vlan-interface200] quit

#VLAN 300およびVLAN-interface 300を作成し、VLANインターフェイスにIPアドレスを 割り当てます。このVLANはホストアクセスに使用されます。

[L3 switch] vlan 300

[L3 switch-vlan300] quit

[L3 switch] interface vlan-interface 300

[L3 switch-Vlan-interface300] ip address 192.168.30.1 255.255.255.0

[L3 switch-Vlan-interface300] quit

#スイッチをACに接続するGigabitEthernet1/0/1をトランクポートとして設定しポートは VLAN 100および200に接続されます。

[L3 switch] interface gigabitEthernet 1/0/1

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/1] port link-type trunk

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/1] port trunk permit vlan 100 200

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/1] quit

#スイッチをAPIに接続するGigabitEthernet 1/0/2をトランクポートとして設定し、VLAN 1パ ケットの通過を禁止し、PVIDをVLAN 400として設定して、ポートにVLAN 400を割り当てま す。

[L3 switch] interface gigabitEthernet 1/0/2

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/2] port link-type trunk

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/2] undo port trunk permit vlan 1

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/2] port trunk permit vlan 400

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/2] quit

#スイッチをホストに接続するGigabitEthernet 1/0/3をアクセスポートとして設定し、 VLAN 1パケットの通過を禁止し、ポートをVLAN 300に割り当てます。

[L3 switch] interface gigabitEthernet 1/0/3

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/3] port link-type trunk

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/3] undo port trunk permit vlan 1

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/3] port trunk permit vlan 300

[L3 switch-GigabitEthernet1/0/3] quit

2. DHCPの設定:

# DHCPを有効にします。

[L3 switch] dhcp enable

#DHCPアドレスプール1を作成してAPにIPアドレスを割り当て、DHCPアドレスプ ールにサブネット192.168.40.0/24を指定します。

[L3 switch] dhcp server ip-pool 1

[L3 switch-dhcp-pool-1] network 192.168.40.0 mask 255.255.255.0

# DHCPアドレスプールでゲートウェイアドレスを192.168.40.1として指定します。

[L3 switch-dhcp-pool-1] gateway-list 192.168.40.1

# オプション43を設定して、DHCPアドレスプール1の16進数形式でAC IPアドレス (192.168.10.1)を指定します。

[L3 switch-dhcp-pool-1] option 43 hex 8007000001c0a80a01

7

[L3 switch-dhcp-pool-1] quit

#DHCPアドレスプール2を作成してクライアントにIPアドレスを割り当て、DHCPアドレスプ ールにサブネット192.168.20.0/24を指定します。

[L3 switch] dhcp server ip-pool 2

[L3 switch-dhcp-pool-2] network 192.168.20.0 mask 255.255.255.0

# DHCPアドレスプールでゲートウェイアドレスを192.168.20.1として指定します。

[L3 switch-dhcp-pool-2] gateway-list 192.168.20.1

[L3 switch-dhcp-pool-2] dns-list 192.168.20.1

[L3 switch-dhcp-pool-2] quit

# DHCPアドレスプール3を作成してホストにIPアドレスを割り当て、DHCPアドレスプー ルにサブネット192.168.30.0/24を指定します。

[L3 switch] dhcp server ip-pool 3

[L3 switch-dhcp-pool-3] network 192.168.30.0 mask 255.255.255.0

# DHCPアドレスプールでゲートウェイアドレスを192.168.30.1として指定します

[L3 switch-dhcp-pool-3] gateway-list 192.168.30.1

- [L3 switch-dhcp-pool-3] dns-list 192.168.30.1
- [L3 switch-dhcp-pool-3] quit

レイヤー2スイッチ1の設定

1. スイッチインターフェイスを設定します。

# VLAN 400を作成します。 VLAN 400はAPアクセス用のVLANです。

<L2 switch 1> system-view

[L2 switch 1] vlan 400

[L2 switch 1-vlan400] quit

# L2スイッチ1とL3スイッチをトランクタイプに接続するインターフェイスGigabitEthernet 1/0/1を設定し、VLAN 1パケットの通過を禁止し、VLAN 400の通過を許可します。

[L2 switch 1] interface gigabitEthernet 1/0/1

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/1] port link-type trunk

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/1] undo port trunk permit vlan 1

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/1] port trunk permit vlan 400

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/1] quit

# L2スイッチ1をAPに接続するインターフェイスGigabitEthernet 1/0/2をアクセスタイプとして 設定し、VLAN 400を通過させ、PoEリモート電源機能を有効にします。

[L2 switch 1] interface gigabitEthernet 1/0/2

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/2] port link-type access

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/2] port access vlan 400

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/2] poe enable

[L2 switch 1-GigabitEthernet1/0/2] quit

レイヤー2スイッチ2の設定

1. スイッチインターフェイスを設定します。

#VLAN 300を作成します。 VLAN 300 はホストがアクセスする VLAN です。

<L2 switch 2> system-view

[L2 switch 2] vlan 300

[L2 switch 2-vlan300] quit

#L2 スイッチ 2 と L3 スイッチを接続するインターフェイス GigabitEthernet 1/0/1 をトランク タイプに構成します。ここでは、 VLAN 1 パケットの通過を禁止し、 VLAN 300 の通過を許可 します。

[L2 switch 2] interface gigabitEthernet 1/0/1

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/1] port link-type trunk

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/1] undo port trunk permit vlan 1

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/1] port trunk permit vlan 300

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/1] quit

#L2 スイッチ 2 をホストに接続するインターフェイス GigabitEthernet 1/0/2 をアクセスタイプ に構成し、VLAN 300 が通過できるようにします。

[L2 switch 2] interface gigabitEthernet 1/0/2

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/2] port link-type access

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/2] port access vlan 300

[L2 switch 2-GigabitEthernet1/0/2] quit

## 設定の確認

#APがR/M状態であることを確認します。

<AC> display wlan ap all

Total number of APs: 1

Total number of connected APs: 1

Total number of connected manual APs: 1

Total number of connected auto APs: 0

Total number of connected common APs: 1

Total number of connected WTUs: 0

Total number of inside APs: 0 Maximum supported APs: 256 Remaining APs: 255

Total AP licenses: 128

Remaining AP licenses: 127

Sync AP licenses: 0

AP information State : I = Idle, J = Join, JA = JoinAck, IL = ImageLoad C = Config, DC = DataCheck, R = Run, M = Master, B = Backup AP name APID State Model Serial ID Officeap 1 R/M WA538-JP 219801A1NM8182032235

#クライアントがAP officeapの無線1に接続されていることを確認します。

<AC> display wlan client

Total number of clients: 1

MAC Address Username AP name RID IP address IPv6 address VLAN 90b9-311a-bef6 N/A officeap 1 192.168.20.3 N/A 200

#クライアントとホストが相互に正常にpingできることを確認します。

C:\Users\system32>ping 192.168.20.3 -t

Pinging 192.168.20.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=2470ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=2ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=1427ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=2ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=86ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=142ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=561ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=84ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=465ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=114ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=124ms TTL=63

Reply from 192.168.20.3: bytes=32 time=446ms TTL=63 Ping statistics for 192.168.20.3:

Packets: Sent = 12, Received = 12, Lost = 0 (0% loss),

Approximate round trip times in milli-seconds:

Minimum = 2ms, Maximum = 2470ms, Average = 495ms Control-C

#### ^C

C:\Users\system32>

構成ファイル

•

AC: # vlan 100 # vlan 200 # vlan 300 # interface Vlan-interface 100 ip address 192.168.10.1 255.255.255.0 # wlan service-template 1 ssid service service-template enable # interface GigabitEthernet 1/0/1 port link-type trunk port trunk permit vlan100 200 300 # ip route-static 192.168.40.0 24 192.168.10.83 # wlan ap officeap model WA538-JP serial-id 219801A1NM8182032235 vlan 1 radio 1 radio enable service-template 1 vlan 200 radio 2 # レイヤー3 スイッチ: # dhcp enable # vlan 100 # vlan 200

# vlan 300 # vlan 400 # dhcp server ip-pool 1 gateway-list 192.168.40.1 network 192.168.40.0 mask 255.255.255.0 option 43 hex 8007000001c0a80a01 # dhcp server ip-pool 2 gateway-list 192.168.20.1 network 192.168.20.0 mask 255.255.255.0 # dhcp server ip-pool 3 gateway-list 192.168.30.1 network 192.168.30.0 mask 255.255.255.0 # interface Vlan-interface100 ip address192.168.10.83 255.255.255.0 # interface Vlan-interface200 ip address 192.168.20.1 255.255.255.0 # interface Vlan-interface300 ip address 192.168.30.1 255.255.255.0 # interface Vlan-interface400 ip address 192.168.40.1 255.255.255.0 # interface GigabitEthernet1/0/1 port link-type trunk port trunk permit vlan 100 200 # interface GigabitEthernet1/0/2 port link-type trunk undo port trunk permit vlan 1

port trunk permit vlan 400 # interface GigabitEthernet1/0/3 port link-type trunk undo port trunk permit vlan 1 port trunk permit vlan 300 # レイヤー2スイッチ1: • # vlan 400 # interface GigabitEthernet1/0/1 port link-type trunk undo port trunk permit vlan 1 port trunk permit vlan 400 # interface GigabitEthernet1/0/2 port link-type access port access vlan 400 poe enable # レイヤー2スイッチ2: # vlan 300 # interface GigabitEthernet1/0/1 port link-type trunk undo port trunk permit vlan 1 port trunk permit vlan 300 # interface GigabitEthernet1/0/2 port link-type access port access vlan 300 poe enable

#

# 関連ドキュメント

- Layer 3 Command Reference in H3C Access Controllers Command References
- Layer 3 Configuration Guide in H3C Access Controllers Configuration Guides
- WLAN Command Reference in H3C Access Controllers Command References
- WLAN Configuration Guide in H3C Access Controllers Configuration Guides

# 付録1. DHCPオプション43を利用したACとAP のレイヤー3での関連付け

- 1. APは、DHCPサーバーを介してIPアドレスとオプション43アトリビュート(無線スイッチのIPアドレス情報を含む)を取得します。
- 2. APはオプション43アトリビュートか取得したACのIPアドレスにユニキャストで検出要求を送信します。
- 3. ACは、ディスカバリ要求パケットを受信すると、APにスイッチへのアクセス権があるかどうかを確認します。ある場合は、ディスカバリ応答を返します。
- 4. APは、ACから最新のソフトウェアバージョンと設定をダウンロードします。
- 5. APは正常に動作し始め、ワイヤレススイッチとユーザデータパケットを交換します



# 付録2.カスタムDHCPオプション

Option 43、Option 82、およびOption 184などの一部のオプションは、RFC 2132に標準定義があり ません。

# ベンダー固有のオプション(オプション43)

### オプション43の機能

DHCPサーバーおよびクライアントは、オプション43を使用してベンダー固有の構成情報を交換します。DHCPクライアントは、オプション43を介して次の情報を取得できます。

- ACSパラメータ(ACS URL、ユーザ名、パスワードなど)。
- PXEサーバーアドレス。PXEサーバーからブートファイルまたは他の制御情報を取得するために使用されます。
- ACアドレス。APがACからブートファイルまたは他の制御情報を取得するために使用されます。

### オプション43の形式

図1 オプション43の形式



ネットワーク構成パラメータは、図1に示すように、オプション43の異なるサブオプションで伝送されます。

- サブオプションタイプ:フィールド値は、0x01(ACSパラメータサブオプション)、0x02(サービ スプロバイダーIDサブオプション)、または0x80(PXEサーバーアドレスサブオプション)です。
- サブオプションの長さサブオプションタイプおよびサブオプションの長さフィールドを除外します。
- サブオプション値:値の形式はサブオプションによって異なります。

### サブオプション値フィールドの形式

ACSパラメータサブオプション値フィールド図2に示すように、スペース(16進数の20)で区切られたACS URL、ユーザ名、およびパスワードが含まれます。

#### 図2 ACSパラメータサブオプションの値フィールド

ACSのURL(変数)	20			
ACSのユーザ名(変数)	20			
ACSのパスワード(変数)				

サービスプロバイダー識別子サブオプション値フィールドサービスプロバイダ識別子が含まれます。
 16

 PXEサーバーアドレスサブオプション値フィールド図3に示すように、PXEサーバータイプ(0のみ)、 サブオプションに含まれるPXEサーバーの数を示すサーバー番号、およびサーバーのIPアドレス が含まれます。

図3 PXEサーバーアドレスサブオプション値フィールド

0	7	7	15		
	PXEサーバータイプ(0x0000)				
	サーバー番号				
サーバーのIPアドレス(変数)					

# 付録3. ポートベースVLAN

ポートベースVLANは、ポートごとにVLANメンバーをグループ化します。ポートは、VLANに割り当てられた後にのみ、VLANからのパケットを転送します。

### ポートリンクタイプ

ポートのリンクタイプは、Access、Trunk、またはHybridに設定できます。ポートリンクタイプによって、ポートを複数のVLANに割り当てることができるかどうかが決定されます。リンクタイプでは、次のVLANタグ処理方法が使用されます。

- Access: Access ポートは、1 つの VLAN からのパケットだけを転送し、これらのパケットをタグなしで送信できます。通常、Access ポートは次の条件で使用されます。
  - VLAN パケットをサポートしていない端末デバイスへの接続。
  - VLAN を区別しないシナリオ。
- Trunk: Trunk ポートは複数の VLAN からパケットを転送できます。Port VLAN ID(PVID)からのパケットを除き、Trunk ポートから送信されるパケットは VLAN タグ付きです。ネットワークデバイスに接続するポートは通常、Trunk ポートとして設定されます。
- Hybrid: Hybrid ポートは複数の VLAN からパケットを転送できます。Hybrid ポートによって転送されるパケットのタギングステータスは、ポート設定によって異なります。1 対 2VLAN マッピングでは、 Hybrid ポートを使用してダウンリンクトラフィックの SVLAN タグが削除されます。

#### **PVID**

PVIDはポートのデフォルトVLANを識別します。ポートで受信されたタグなしパケットは、ポートPVID からのパケットと見なされます。

Accessポートは1つのVLANにしか加入できません。Accessポートが属するVLANは、ポートの PVIDです。TrunkポートまたはHybridポートは、複数のVLANおよびPVID設定をサポートします。

### 異なるリンクタイプのポートがフレームを処理する方法

パケットの向かう う方向	Access	Trunk	Hybrid	
タグなしフレームの インバウンド方向	フレームに PVID タグタグを付 けます。	<ul> <li>ポートで PVID が許可されている場合は、フレームに PVID タグタグを付けます。</li> <li>そうでない場合は、フレームをドロップします。</li> </ul>		
タグ付きフレームの インバウンド方向	<ul> <li>VLAN ID が PVID と同じであれば、フレームを受信します。</li> <li>VLAN ID が PVID と異なる場合は、フレームをドロップします。</li> </ul>	<ul> <li>VLAN がポートで許可されている場合は、フレームを受信します。</li> <li>VLAN がポートで許可されていない場合は、フレームをドロップします。</li> </ul>		
アウトバウンド方向	VLAN タグを削除し、フレーム を送信します。	<ul> <li>フレームが PVID タグを 持ち、ポートが PVID に 属している場合は、タグ を削除してフレームを送 信します。</li> <li>VLAN がポート上で伝送 されているが PVID と異 なる場合、タグを削除せ ずにフレームを送信しま す。</li> </ul>	VLAN がポートで許可され ている場合にフレームを送 信します。フレームのタギ ングステータスは、port hybrid vlan コマンドの設定 によって異なります。	

## 付録4. ネットワーク解説

ネットワーク図



#### **CAPWAP**の確立

付録1にあるように、APは起動するとDHCPからアドレスを取得します。この例ではAPが接続されて いるレイヤー2スイッチ1のポートGE1/0/2でVLAN400のPVIDをつけてDHCPを探しますので、pool 1 から192.168.40.0のセグメントのPアドレスを取得してポートGE1/0/1に割り当てます。

その際、Option 43によりACのIPアドレス192.168.10.1も同時に取得します。

そのACのIPアドレスに対してユニキャストでCAPWAPトンネルの確立を要求します。

レイヤー3スイッチはこのVLAN400からの要求をACのあるVLAN200にルーティングして転送します。 ACはこの要求に対してOKの返事を、デフォルトルート(192.168.10.83)を経由して返信しCAPWAPが 成立します。

#### クライアントのホストへのアクセス

クライアントはRadio 1に接続するとservice template 1によりVLAN200からIPアドレスを要求します。 APではクライアントからのアクセスはCAPWAPトンネルを通してACへ送りますが、トンネルを出たパ ケットはACにあるVLAN200からレイヤー3スイッチに渡され、そこにあるDHCPサーバーからIPアドレ スを取得します。その後のホストへのアクセスはレイヤー3スイッチによりルーティングされ、通信が 成立します。